



「トリ」は三、「ターマ」は多摩からの造語。三多摩地域への想いを込めて。

【編集】東京都公民館連絡協議会研修担当 【発行】東京都公民館連絡協議会

【連絡先】小金井市公民館東分館 ☎042-384-4422 k020413@koganei-shi.jp

2013/3
第20号

都へ要望書を提出

要 望 書

(略) 東京においては、生涯学習・社会教育の場における市民学習機関をつなぐ統一機関もなく、公民館連絡協議会も、12市・1町のみが加盟する状況となっております。言うまでもなく行政においては、同一の課題解決を担当する部署においては、共通の情報交換と研修制度を持つ機関が存在することが求められます。また、市民の学習の場に着目しても、公民館、コミュニティセンター、生涯学習センター、学習館、市民大学など様々な学習機関が存在しつつも、自治体を超えた調整機関については、公民館連絡協議会以外は存在しないのが現状です。このような現状を改革するために、三多摩すべての社会教育、生涯学習施設連絡協議会の創設についての検討を着手したところです。

以上の認識のもとに、平成24年度一般会計予算に消耗品費、役務費を計上して、研修、研究大会においては、東京都公民館連絡協議会加盟市以外にも参加を呼び掛けました。その結果、肯定的な評価を得ることができました。とりわけ、研修については、職員の専門性が一層重要性をもつにもかかわらず、各市の財政状況は厳しく、市町村の枠を超えた統一機関の重要性が指摘されています。社会教育、生涯学習という専門的な分野においては、市町村研修所にゆだねることも限界があります。

要望事項

このような状況を踏まえて、東京都におかれましては平成26年度を目途に、社会教育、生涯学習施設連絡協議会(多摩地域または区部を含めた協議会)の設立に向けて、積極的な役割を果たして頂きますよう要望いたします。

1年間を振り返って

東京都公民館連絡協議会 会長

大関 勝広(小金井市公民館長)

平成24年度の東京都公民館連絡協議会の会長職を1年間、微力ながら無事に努めさせていただきましたことは、皆様のご理解、ご協力の賜であると深く感謝申し上げます。

さて、会長の職務を担うに当たっては、当初の運営方針にも掲げておりましたように、都公連のあり方を見直したいという思いから、都公連加盟自治体の枠を超えた、三多摩すべての自治体を対象とした、社会教育・生涯学習施設連絡協議会の創設に向けた研究を行ってきたところでございます。

そして過日、東京都公民館連絡協議会会長名並びに役員一同から東京都教育委員会宛に要望書(左掲)を提出させていただきました。

なお、このことについて、東京都と2回の協議をさせていただいたところですが、現在のところ、残念ながら前向きな回答はいただけていないという状況でございます。

今後につきましても、何とかこの都公連がより良い組織になるよう、陰ながら努力してまいりますので、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

1年間、ありがとうございました。

発達障害など支援を必要とされる子どもや親へのサポートについて

【3/22開催】



研修に参加しての感想

小笠原雄二(福生市公民館)

最近、仕事柄か社会問題化しているのか、「発達障害」という言葉をよく見聞きします。今年度は、保育室事業の担当職員として保育室併設講座を行い、そのふり返りの打合せや、担当者会議などの場において保育者からも、ちょっと気になる子がいるといった相談や報告もあり、何も知らないでお子さんを預かるというのは危険という認識をもっていました。

そんな折にこの研修会の実施を知り、何か今後の事業を企画する上で参考になる情報が得られないかと思い、参加しました。

講師が大学教授ということで講義形式かと思いましたが、会場には椅子だけあって壁際に皆さんが座っている状態でした。

ここで何をするのか考えていると、先生が話し始めて20分経ったところで、ボディゾーンの確認ということで、隣の人とそれぞれの心地の良い立ち位置に立ってみて相手との距離感の大切さがわかりました。

次は視線の確認や“E・Tごっこ”と題して指一本触れた感覚のみで相手を理解する試みをしてみました。感覚が鈍いのか私には特に何も読み取れませんでした。

この研修は全体を通して演習が中心で、先生の話も本音で語られており、具体的に

わかり易かったです。

発達障害は、一つの障害だけではなく複合的に関連し、その組み合わせも人によって異なり理解しにくいですが、その行動を理解し善意の通訳者となることで問題を少なくできることが見えてきました。

まだまだ日本では発達障害については周知度・理解度が低く、公民館を拠点として情報発信や学習の機会を設け、地域に一人でも多くの理解者・支援者を増やし、この困り感を共有できる社会にしていくきっかけが作れば良いと感じました。

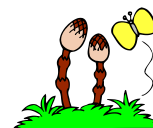


↑ 中身の濃い、とても有意義な研修会でした

予告

新任職員研修2013

〜〜〜公民館職員はじめの一步



回	日程	内 容	講 師	会 場
1	6/11 (火)	体験！アイスブレーキング 公民館職員の心得～市民とのつながり方	岩松 真紀 (東京農工大学大学院) 片野 親義 (大東文化大学非常勤講師)	東村山市立 中央公民館
2	6/18 (火)	社会教育法体系と公民館の あゆみ	安藤 聡彦 (埼玉大学教授)	西武線 東村山駅
3	6/25 (火)	公民館事業の企画と運営	金田 光正 (富士見市生涯学習課長)	東口 徒歩1分

※6/11 午後2時～5時、6/18及び6/25 午後2時～4時